

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 盈進高等学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校生徒 中学295名、高校841名 計 1136名 希望保護者 52名 教職員60名 総合計 1258名
3 展開の形式	() 教科で実施 教科名 () (O) 教科以外で実施 (LHR 講演形式)
4 目標（ねらい）	【事業として】 大会そのものへの興味関心の向上だけでなく、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等、多面的な教育的価値を持つ。 【生徒】 努力することの大切さ、あきらめない心、フェアプレーの大切さを実体験の中から聞いて学ぶ。
5 取組内容	実施日時：12月19日（12時40分来校、15時20分離校） 講師：大林 素子（バレーボール） ホリプロ所属 講演：1時間 演題「マイドリーム」 質疑応答：20分 写真撮影：中学、高校バレーボール部の生徒と一緒に撮影
6 主な成果	質疑応答の時間に成果を真っ先に感じた。 質問内容は、自分自身の性格をもっとよい方向に向けるためには？など自分自身を変えるための質問内容が多かった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	打ち合わせを行い、ステージ上で講演するのではなく、座っている生徒に質問しながら、Q&A方式で楽しく参加型になるようお願いした。その反面、タレントということもあり、マネージャーからの制約も多く、出来る限りのお願いをした。
8 主な課題等	十分な事前、事後学習の計画を立てることが出来なかった。
9 来年度以降の実践予定	機会があれば、事前事後学習とともに取り組みたい。